

NEWS RELEASE



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

神戸運輸監理部



こうべ

平成29年2月15日14時 資料配布

配布先
神戸海運記者クラブ

この件に関するお問い合わせ先
海上安全環境部 調整官 長 澤
(電話) 078-321-7051

明石海峡周辺の航行の安全確保を呼びかけます！

～イカナゴ漁が始まる今月末から管内寄港の船舶等を対象に～

神戸運輸監理部と第五管区海上保安本部は、明石海峡航路や周辺海域での船舶の安全航行の徹底を図るため、2月20日（月）から3月10日（金）までの間、管内の港に停泊する内航船舶及び外国籍船舶等を対象に航行体制や航海機器の確認を実施し、「事故の芽」を取り除きます。

平成20年3月5日、明石海峡航路東入口で3隻の船舶が関係する多重衝突事故が発生し、4名もの尊い命が犠牲となりました。

日本一海上交通量が多い明石海峡周辺では、毎年2月下旬から「イカナゴ漁」の漁期を迎え、多数の小型漁船が操業することから、この時期に通峡する船舶は、航行の安全確保にお一層注意を払うことが求められます。

「イカナゴ漁期」前及び「多重衝突事故の日」を中心に、平成20年度から継続して実施している本キャンペーンは、今年度も第五管区海上保安本部と共同して実施します。各々職員により管内各港で停泊しているフェリーや貨物船などを訪問し、見張り体制や通信機器等の機能の確認を実施するほか、下記重点項目を記載したビラ（別紙）を配布します。船舶運航会社にもビラを適宜配布し、重大事故発生の防止を周知します。

ビラ（外国船舶向けを含む。）は、ホームページでもダウンロードできます。

一重点項目一 「安全航行を行いましょ！」をスローガンに

- 狭水道、多数の漁船の操業、多数の船舶が航行する海域での見張りの強化
- 適切な航海当直体制の確保と船長による直接指揮の徹底
- 常時交信のできる船舶無線の維持、運用
- 他船及び大阪湾海上交通センター(大阪マーチス)との通信の確保、維持の徹底
- AISへの正確なデータ入力を励行
- 明石海峡航路の航法の遵守

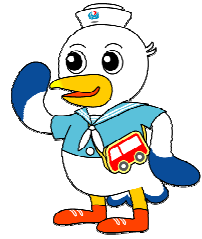
(周知用ビラ)



※訪船活動の取材について

期間中は、主に平日の午前中に、関係職員が停泊中の船舶に出向きます。取材にあたっては、乗船手続き等の調整が必要ですので、なるべく早めに上記担当に連絡をお願いします。

狭水道やふくそう海域、イカナゴ漁周辺では



安全航行を行いましょよう!



平成20年3月5日、明石海峡航路東入り口で3隻の衝突事故が発生し、4名の尊い命が犠牲になりました。この事故の主な原因は、航路に入る前からの見張りが不十分であったこと、事前の避航動作が取れていなかったことであるとされています。

平成23年8月には、居眠りによる舞子公園護岸へのコンテナ船の乗り揚げ事故が発生しています。

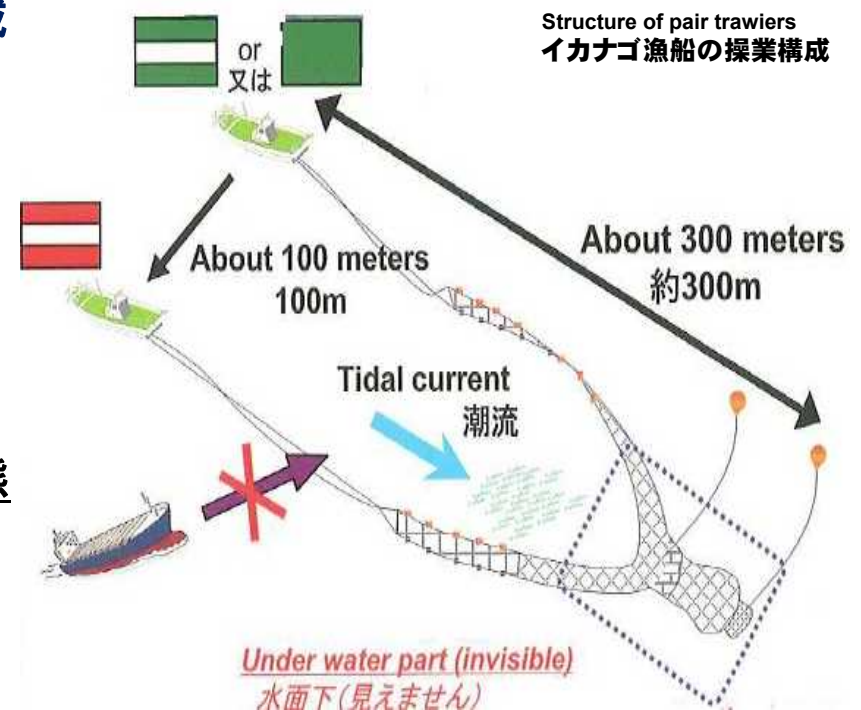
例年2月下旬から明石海峡周辺ではイカナゴ漁が始まり、航路をうめつくすほどの小型漁船が出漁しますので、安全航行確保のために次の事項の遵守をお願いします。

狭水道やふくそう海域、多くの漁船が操業する海域では、見張りを厳重に<Keep a sharp lookout!>

- ・**船長**自ら指揮を取りましょよう。
- ・**見張り**を徹底しましょよう。
- ・**手動操舵**を励行しましょよう。
- ・**明石海峡航路の航法**を遵守しましょよう。

必要な情報の入手・提供を

- ・**無線(VHF)**は、常時相手との交信ができる状態を維持し、呼び出しには**必ず応答**しましょよう。
《VHF(CH16)を常時聴守!》
- ・**AIS**に**正確な情報**を入力しましょよう。
- ・航行中は、**レーダー・GPS**を活用しましょよう。



Campaign for Prevention of Accident in Japanese water, since 1st April, 2008.

For passing through a Narrow channel and Traffic congested area

A very serious accident occurred, which three vessels collided, one ship sank, killing three Philippine crew and leaving one other missing in the “Akashi - Kaikyo” on March 5th 2008.

There is a high collision risk in the Akashi-Kaikyo, where is a very strategic area, one of Japan’s busiest bodies of water with tidal current and passing more than 860 vessels in a day that links major cities in western Japan with the Pacific Ocean.

For safety navigation to pass through a narrow channel and traffic congested area, such as Akashi-Kaikyo in Japanese water, please check following items so that to prevent an accident likes aforementioned serious collisions.

- Are your lookout properly instructed to know what to look and listen for?
- Does the master take command all the time on the bridge?
- Can you change-over from Autopilot to manual steering immediately?
- Do you always pay attention to information of Navtex and VHF radio?
- Do you also maintain a watch on VHF-CH16 to obtain necessary information on safe navigation?
- Are you aware of Revised Navigation rule of Akashi-Kaikyo ?
- Do you maintain all information which received from your local agents?
- Do you check information transmitted by AIS, not only from the other ships but also from your ship?

Contact to:

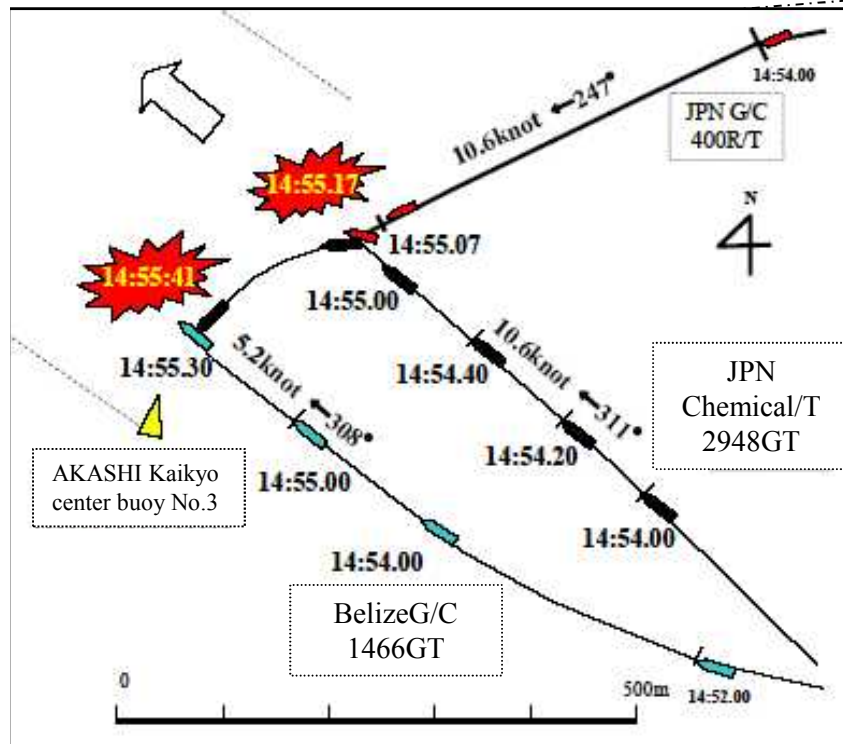
**Kobe District Transport Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
(Tel+81-78-321-7051) 1-1, Hatoba-cho Chuuou-ku, Kobe City, Hyogo Pref. Japan**

5, Mar, 2008

Double Collision at AKASHI Kaikyo



KOBE



① First Collision
RED VS BLACK

② Second Collision
BLACK VS BLUE
BLUE capsized !!

JPN G/C
400R/T

BelizeG/C
1466GT

JPN Chemical/T
2948GT

AWAJI Isl.